



発行責任者
 隠岐広域連合立
 隠岐病院長
 隠岐の島町城北町

年頭にあたって



隠岐病院院長

小出 博己
こいで ひろみ

新年明けましておめでとうございませう。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

早いもので、平成24年5月1日に待望の新病院が開院し、既に1年8ヶ月が経過しました。

新病院では療養環境の改善、屋上へリポートの運用開始による緊急搬送の充実、医療機器の更新による検査・診断機能向上が図られ、また新病院とともに電子カルテも稼働し、医療情報の効率的運用が可能となりました。更に予防医療の充実を目指して健診機能の強化を図るため、健診コーナーを設けました。少子高齢化が進

行する中、他の医療機関および保健・福祉・介護施設との連携の強化のため地域連携室も充実させました。

このようにハード的な面は整備が進みましたが、隠岐医療圏の中核病院として十分に機能し、島民の皆様が安心して医療を提供できるためには、医師や看護師をはじめ医療関連職のマンパワーの安定した確保が課題であります。

医師に関しては、離島という地理的ハンデも有るため、島根県や大学病院から多くの診療科で応援をいただいております。規模の県内の病院と比較して医

師数、診療科数は確保されてはおりませう。一方、開業医や診療所を含めた隠岐の医師数は人口に比して少なく（全国平均の2/3程度）、また診療科による医師数の偏在のため常勤医師不在の耳鼻咽喉科、皮膚科、泌尿器科などでは、診療日時が限られている現状があり、さらに同規模の病院と比較して外来患者数が1日400名以上と約2倍程度多く、診察待ち時間が長い、診察時間が十分取れないなど、受診される皆様にご不便をおかけしていることも事実であります。この様な状況を少しでも改善し、受診される皆様や医療者の負担を少しでも和らげる効率的な医療を提供できるように、かかりつけ医としての開業医や診療所との医療連携をこれまで以上に進め地域全体で医療を担っていく取り組みが必要であると考えています。

全国的に医師不足が叫ばれる中、幸いにも昨年4月に麻酔科医師を招聘でき、手術関連、ペインクリニック（疼痛）外来等での医療機能の拡充ができました。

また限りあるマンパワーのなか院内協力体制やチーム医療の推進で医療機能の維持に何とか対応しているところでありませうが、看護師をはじめ医療者の離職

の原因となる負担の軽減も考慮しなくてはならない状況もあることをご理解いただきたく思います。そして引き続き医療職の確保に努力してまいります。人材確保には、島民の皆様のご協力をいただいて医師・看護師等へ選ばれた魅力ある病院作りを取り組む必要があります。新病院開院後ボランティアの方々へ受診時の案内や介助等の応援をしていただいているところでもあります。さらに病院と島民の皆様との架け橋となつて隠岐病院のこともと良く知っていただき、そして島民の皆様のためにある隠岐病院を育ててゆくという意識を持つていただき、ご意見とともにご支援いただき、ことが必須であると考えますので、今後とも何卒よろしくお願ひいたします。

最後に、病気の後追い治療は患者様ご自身も医療者も苦痛を伴い、医療費も増大することなどを考慮し、新病院では健診機能も強化しましたので、生活習慣病などの健康診断およびがん検診を定期的に受けられ早期発見早期治療で、健康年齢の増進を心がけて頂ければと願ひいたします。

世界糖尿病デーを 振り返って

昨年11月9日、糖尿病の予防・療養に関する情報を隠岐の島町の多くの住民の皆様を知っていただくことを目的として、隠岐では初めての世界糖尿病デー関連イベントを西郷港ターミナルビルで行いました。当日16時ターミナルビルの2階は青い風船で彩られ「糖尿病とは」のポスター・パンフレット展示や日本糖尿病協会・患者会の紹介、フードモデルやカロリークイズなど栄養に関するコーナー、健康チェックコーナー、血管年齢測定や先着50名様景品付きの糖尿病クイズラリーなどからはじまりました。引き続き糖尿病専門医による講演会・隠岐高校吹奏楽部の合奏・男性合唱団隠岐グリーンクラブの合唱、勝部奈緒さんの独唱等があり、糖尿病に関してそれぞれに知識を深め、また健康な心身へと導く癒やされる音楽の効用を体験する機会となりました。



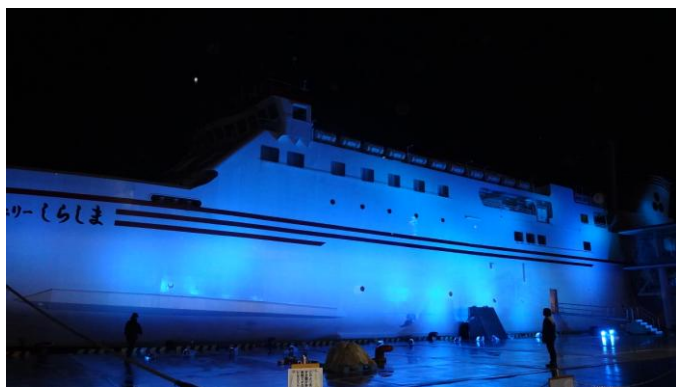
▲皆さんの寄せ書きで作ったブルーサークル

そして暗くなつてフェリーしらしまの帰港する時間にあわせ、100Mの白いフェリーの船体が見え、世界糖尿病デーにちなみ国連のシンボルカラーであるブルーにライトアップされました。

このフェリーしらしまのブルーライトアップは多くの皆様のご寄付をいただき企画したものです。イベントの方々とも隠岐汽船の担当の方々とも何度も打ち合わせを行い、リハーサルも行い、より素敵なライトアップへ可能な限りで知恵を出し合い現実のものへと検討しました。みんなの思いが通じたのか祈るような気持ちで迎えた当日がよい天気だったことは何よりほっとしました。そして更に大切なことはこの糖尿病関連イベントに多くの住民の方

にきていただくことでした。夕方から夜へかけてお出かけにくい時間帯であったにも関わらずこの関連イベントに年代を問わず小さい子供さんから学生さん、成人・高齢の方まで約300名の参加があったことは本当にうれしい限りでした。

当日は病院・隠岐保健所・隠岐の島町・広域連合の職員の皆様に多数ご協力いただきました。皆それぞれにイベントの企画や運営に参加することで糖尿病対策への理解を深める機会となり、また糖尿病対策の担い手としてその力を発揮できたので



▲ご協力のおかげで、ブルーライトアップ大成功！！

はないかと思えます。ありがとうございます。ありがとうございました。

後援や協力いただいた関係機関の皆様、ポスターの張り出しにご協力いただいた関係機関や商店の皆様、またこの講演会をはじめライトアップにご寄付いただいた製薬会社・関連機関・住民の皆様には厚く御礼申し上げます。

受付で参加していただいた皆さんに名前を書いていただき出上がったブルーサークルは“またみんなが糖尿病について学び、予防しよう”という未来への青い輪となりました。

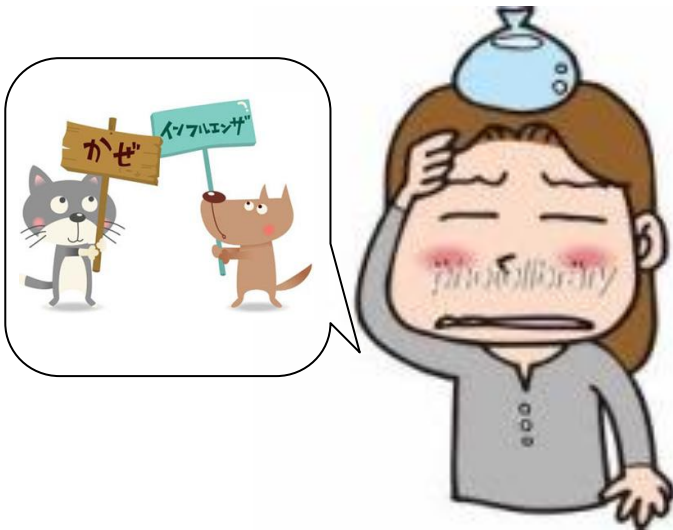
この世界糖尿病デーを機会に今後も糖尿病教室や講演会等々をはじめとして様々に糖尿病について考え学習できる場をつくりたいと思います。こじんまりとでも、年に1回世界糖尿病デーにあわせて、町のどこかでブルーライトアップができ、日頃関心がない人も改めてその日に考える機会になればと願っています。

世界糖尿病デー
実行委員会事務局

インフルエンザ流行中

インフルエンザ様症状で
隠岐病院を受診される患者様へ

- ・来院前にまず電話！
- ・お見舞いは控えよう！
- ・マスクを着けよう！



インフルエンザが流行しています。隠岐病院には普段から多くの患者様が通院されており、入院患者様も多数おられます。その中には免疫力が低下し、インフルエンザにかかると重症化しやすい患者様もおられます。また、入院中の患者様にインフルエンザが流行すると、隠岐病院での入院治療が困難な状態となります。インフルエンザが流行しているこの時期に、免疫力が低下した患者様や入院患者様をインフルエンザから守るため、発熱、風邪症状、関節痛のようなインフルエンザ様症状のため、隠岐病院を受診される患者様には、次の点のご協力いただければと思います。

（1）発熱、風邪症状、関節痛などのインフルエンザ様症状



で、隠岐病院を受診される時は、必ず事前に電話連絡をお願いします。

（2）発熱、風邪症状、関節痛などのインフルエンザ様症状で、隠岐病院を受診された時は、必ず近くの職員に申し出て下さい。

（3）発熱、風邪症状、関節痛などのインフルエンザ様症状を認める方は、入院患者様への面会をお控え下さい。

（4）発熱、風邪症状、関節痛などのインフルエンザ様症状を認める方は、必ずマスクを着用して来院してください。

インフルエンザが疑われる患者様には、緊急を要する状態ではない限り、診察時間と診察場所の指定をさせていただきます。免疫力の低下した患者様の診療等が終了した後になりますので、詳しい診察時間と診察場所は隠岐病院までお問い合わせ下さい。

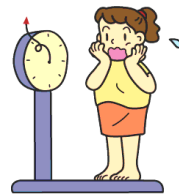
インフルエンザ感染拡大防止にご協力をよろしくお願ひします。

隠岐の島町糖尿病教室のご案内

日時 2月21日(金)午後2時～3時30分

会場 隠岐病院2階講堂

**内容 糖尿病の合併症について（隠岐病院内科 門脇医師）
足の健康サポート(保健師 横地)**



今回は隠岐病院で開催いたします。みんなでゆっくり学習しましょう。治療中の方も、治療中ではないけれど関心のある方も大歓迎です。是非ご参加ください。

※当日2時までに隠岐病院1階正面玄関横 バス待合室にお集まりくださいませ。ご案内致します。

かせ予防のポイント

① しっかりと睡眠をとり
バランスのとれた食事と
適度な運動を続け
体力維持に努めま
しょう。

② 石鹸を使い、
しっかりと手を
洗いましょう。



③ 口の中やのど
の奥は、ウイル
スの上陸地点の
ひとつです。
外出後は、しっ
かりうがいをし
ましょう。

うがいをしよう



④ 室内の湿度を
適度に保ちま
しょう。



⑤ 流行期には人ごみを避け、
かぜにかかっ
たら、マスク
をつけ感染の
広がりを防ぎ
ましょう。



あとがき

新年あけましておめでとう
ございます。

先日、職場でメンタルヘルス
の研修会がありました。
職場の人間関係の問題がみな
さんの一番の悩みやストレス
である報告がありました。

今年の干支の馬を使った「馬
があう」という言葉がありま
す。人間関係全般において馬が
あうということは幸いなこと
だと思えます。職場の人間関係
もそうですが、気が合う・馬が
合う人との出会いはかなり気
になりますよね。

人間、始めから気が合う・馬
が合うということはないと思いま
す。あることではないと思いま
す。もし、初対面の人の中にそのよ
うな人が現れたら、それは、そ
の人が配慮のある人であり賢
い人なのかもしれません。この
ような場合、自らを省みること
が大事なかもしれませんね。

S

